

平成 24 年度 事業報告書

学校法人 香川 学 園

—目 次—

はじめに	1
I. 法人の概要	
1. 沿革	1
2. 設置する学校等および所在地	3
3. 設置する学校の定員と学生・生徒・園児数	4
4. 役員・評議員・教職員数	5
II. 事業の概要	
1. 中長期計画	6
2. 教育・研究活動	6
3. 奨学事業	7
4. 就職・進学の様況・国家試験の合格率	7
5. 入試状況	9
6. 国際交流	10
7. 施設・設備	10
III. 財務の概要	
1. 学校部門	11
2. 収益事業部門	12

はじめに

本学園は、明治36年に香川昌子が開塾した香川裁縫塾に始まります。翌年には、山口県知事の許可による香川裁縫女学校となり、以後、激動の20世紀の変遷の中で、幾多の困難を克服し、香川高等女学校をへて昭和35年、県下で最初の短期大学である宇部短期大学を設置しました。この短期大学(現 短期大学部)を母体とし、宇部市及び山口県の財政的支援を受け、平成14年に宇部フロンティア大学を開学させました。

現在、本学園は、幼稚園、中学校、高等学校、短期大学、大学、大学院からなる総合学園であり、教育・研究の一大拠点として、地域への貢献に取り組んでいます。本年度創立110年を迎えました。

学園創始者である香川昌子が掲げた建学の精神は、「人間性の涵養と実学の重視」という当時としては先進的な教育精神でありました。この建学の精神を継承し、「礼節、自律、共生」を学園のモットーとしています。

I. 法人の概要

1. 沿革

明治36年	4月	香川裁縫塾創設
37年	7月	香川裁縫女学校認可
大正6年	2月	香川実科女学校と改称
15年	2月	山口県香川実科高等女学校認可
昭和11年	3月	山口県香川高等女学校認可
14月	4月	財団法人山口県香川高等女学校認可
22年	4月	香川学園中学校設置〔昭和37年4月宇部短期大学附属中学校に改称〕
23年	4月	新学制の施行により財団法人山口県香川高等女学校自然解消し、財団法人香川学園高等学校設置〔昭和37年4月香川高等学校に改称〕
25年	4月	香川学園藤山幼稚園設置〔昭和37年4月宇部短期大学附属藤山幼稚園に改称〕
26年	3月	学校法人香川学園認可
30年	4月	香川学園高等学校商業科、被服科、保育科設置
35年	4月	香川学園短期大学家政科設置〔同年10月 宇部短期大学に改称〕
37年	4月	宇部短期大学に栄養士養成課程設置
40年	4月	宇部短期大学工業計数科〔昭和55年4月 情報計数学科に改称〕、保育科〔昭和44年4月 幼児教育学科に改称〕設置
42年	4月	宇部短期大学文科(国語専攻・英語専攻)設置〔昭和44年4月 文学科(国語国文学専攻・英語英文学専攻)に改称〕 宇部短期大学家政科を家政専攻・食物栄養専攻に専攻分離〔昭和44年4月 家政学科(家政学専攻・食物栄養学専攻に改称)〕
45年	4月	香川高等学校経理事務科・服飾デザイン科設置
47年	4月	香川高等学校情報処理科・食物科設置(経理事務科募集停止)
48年	4月	香川高等学校食物科を食物調理科に改称
50年	4月	宇部短期大学に環境衛生学科設置

63年	4月	宇部短期大学幼児教育学科を保育学科に名称変更 宇部短期大学家政学科に介護福祉士養成課程設置
平成元年	4月	宇部短期大学家政学科家政学専攻を家政学専攻と生活福祉学専攻に分離
2年	4月	学校法人香川学園環境技術センター設立〔平成14年4月 宇部環境技術センターに改称〕
10年	4月	宇部短期大学文学科を改組して言語文化学科を設置
	4月	宇部短期大学情報計数学科を情報システム学科に名称変更
12年	4月	宇部短期大学家政学科家政学専攻及び生活福祉学専攻を改組して健康福祉学科健康福祉学専攻及び生活福祉学専攻を設置、家政学科食物栄養学専攻を食物栄養学科に名称変更 香川高等学校家政科を生活デザイン科に名称変更
14年	4月	宇部フロンティア大学人間社会学部人間社会学科設置
15年	5月	宇部短期大学言語文化学科及び環境衛生学科廃止
16年	4月	宇部フロンティア大学大学院人間科学研究科設置
	4月	宇部短期大学を宇部フロンティア大学短期大学部に名称変更
	4月	香川高等学校を宇部フロンティア大学附属香川高等学校に名称変更
	4月	宇部短期大学附属中学校を宇部フロンティア大学附属中学校に名称変更
	4月	宇部短期大学附属藤山幼稚園を宇部フロンティア大学附属幼稚園に名称変更
	4月	宇部フロンティア大学短期大学部健康福祉学科生活福祉学専攻を生活福祉学科に名称変更
17年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部健康福祉学科健康福祉学専攻を廃止
	3月	宇部フロンティア大学短期大学部附属人間生活科学研究所を廃止
	4月	宇部フロンティア大学人間社会学部に児童発達学科を設置
18年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部健康福祉学科生活福祉学専攻を廃止
19年	4月	宇部フロンティア大学人間社会学部人間社会学科を人間社会学部福祉心理学科に名称変更
	4月	宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科を設置
20年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部生活福祉学科を廃止
	4月	宇部フロンティア大学附属幼稚園に満3歳児学級を設置
21年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部情報システム学科を廃止
23年	2月	宇部フロンティア大学附属香川高等学校情報処理科を廃止

2. 設置する学校等および所在地

<大学院>

宇部フロンティア大学 大学院人間科学研究科 臨床心理学専攻
(山口県宇部市文京台二丁目1番1号)

<大学>

宇部フロンティア大学
人間社会学部 福祉心理学科、児童発達学科
人間健康学部 看護学科
(山口県宇部市文京台二丁目1番1号)

<短期大学>

宇部フロンティア大学短期大学部
保育学科、食物栄養学科
(山口県宇部市文京町5番40号)

<高等学校>

宇部フロンティア大学附属香川高等学校
普通科、生活デザイン科、食物調理科、保育科
(山口県宇部市文京町1番25号)

<中学校>

宇部フロンティア大学附属中学校
(山口県宇部市文京町1番25号)

<幼稚園>

宇部フロンティア大学附属幼稚園
(山口県宇部市文京町7番5号)

<収益事業>

宇部環境技術センター
(山口県宇部市文京町4番23号)

3. 設置する学校の定員と学生・生徒・園児数

(単位：人)

	学部・学科等	入学定員	収容定員	在籍者数	収容定員 超過率
大学院	人間科学研究科	15	30	32	1.07
大 学	人間社会学部 福祉心理学科	70	330	177	0.54
	人間社会学部 児童発達学科	-	50	16	0.32
	人間健康学部 看護学科	80	330	325	0.98
	計	150	710	518	0.73
短期大学部	保育学科	80	160	112	0.70
	食物栄養学科	70	140	77	0.55
	計	150	300	189	0.63
高等学校	普通科	110	370	331	0.89
	生活デザイン科	40	120	97	0.81
	食物調理科	39	117	119	1.02
	保育科	40	120	94	0.78
	計	229	727	641	0.88
中学校		90	270	183	0.68
幼稚園			280	218	0.78
合 計			2,317	1,781	

* 学生・生徒・園児の在籍者数は、平成 24 年 5 月 1 日現在

* 高等学校の入学定員は募集定員

* 大学児童発達学科は募集停止

4. 役員・評議員・教職員数

(1) 役員 理事 9名 監事 2名 (任期：平成24年7月7日～平成28年7月6日)

理事長	神谷 晃		
常務理事	相原次男	理事	臼井恵次
理事	左利厚生	理事	脇 和也
理事	西村洋子	理事	山田通夫
理事	末永順子	監事	藤田敏彦
理事	大中憲治	監事	唐津正一

(2) 評議員 19名 (任期：平成24年7月7日～平成28年7月6日)

左利厚生	工藤隆治	新造元子	岩本哲男
西村洋子	神谷 晃	武波博行	
相原次男	米田純子	笠井泰孝	
末永順子	松富直利	棟久郁夫	
臼井恵次	末永憲次	山田通夫	
大中憲治	末廣 明	脇 和也	

(3) 教職員数 (専任) (単位：人)

	平成24年度	平成23年度
大学教員	55	57
短期大学部教員	21	21
中学校・高等学校教員	63	66
幼稚園教員	12	11
職員	34	38
環境技術センター職員	16	17
合計	201	210

II. 事業の概要

1. 中長期計画

経営改善計画を策定し、その経営改善計画の進捗状況の監視、精査等の業務を行う経営戦略室では、昨年度「香川学園の当面の課題解決に向けて」を理事会に報告し、各所属ではその報告書及び「学校法人香川学園 経営改善計画」を踏まえて、広報戦略のための施策を策定しました。

本年度は、その策定した内容の進捗状況について、9月までに実施した事項の説明、及びそのことに対する質疑応答・意見交換を行い、各所属での報告・要望及び課題等を事例的に記したヒアリング調査をまとめ、理事会に報告しました。

2. 教育・研究活動

- (1) 大学は、平成25年3月に児童発達学科すべての在学生在が卒業したことに伴い、3月31日付で人間社会学部児童発達学科を廃止しました。
- (2) 大学福祉心理学科では、多様な学生（長期履修学生、教養履修学生など）の希望に応えられるようなカリキュラムの見直しを行いました。また、中途退学を防ぐ方策として1年次からチューター制度を積極的に活用することを検討しました。
- (3) 大学看護学科では、今年度入学生から、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令に基づき、保健師を選択制にするカリキュラム変更を行いました。
- (4) 短期大学部保育学科は、高大連携の一環として、付属高等学校保育科の生徒を対象に、8月と12月に「保育音楽技術グレード試験」を実施しました。
- (5) 短期大学部保育学科は、レクリエーション実習の一環として、今年度も引き続き宇部市レクリエーション協会との共催による「あそびの城」事業を全13回実施しました。うち4回は外部のまつり会場などにて実施しました。
- (6) 短期大学部食物栄養学科は、「食」を中心テーマに据えた総合科目～食のまちプロ学～を開講し、地域で活躍する複数の講師により、水道水の安全性から各種料理の奥義まで多岐にわたる全15回の授業を行いました。
- (7) 高等学校は、心を育てる人間教育と実力養成を教育方針として、生徒一人ひとりを大事にする教育を実践しました。また、生徒が明るく元気に活動できる「環境整備」、「部活動の活性化」を図るとともに、「朝読書」と「明るく元気な挨拶」を励行しました。

高等学校普通科では、次年度に実施する生徒の海外研修派遣に向けた事前調査のため、8月15～28日に教員2名が英国（主にロンドン周辺）を視察しました。
- (8) 中学校では、1年生において初代校長の代に伝統的な恒例行事だった「宗隣寺座禅会」、「九重林間学校」を復活させ、香川の伝統である文武両道の精神育成を行いました。
- (9) 幼稚園は、創立70周年記念事業として募金事業及び11月に記念式典を開催し、記念

誌を発行しました。また、記念事業として図書室の整備、総合遊具の更新、ツリーハウスを設置し、教育環境の充実に努めました。

3. 奨学事業

- (1) 大学及び短期大学部の学業成績優秀な学生へ授業料等の減免を行いました。また、大学ではスポーツ成績優秀者に授業料等の減免を行いました。
- (2) 附属中学校から附属高等学校への進学を促進するため授業料等の減免を行いました。また、附属中学生の学業成績優秀な生徒へ授業料等の減免を行いました。

4. 就職・進学状況・国家試験の合格率

- (1) 大学

①就職状況

学部・学科	就職先	人数 (%)
福祉心理学科	社会福祉法人	7
	医療法人	1
	一般企業等	7
	計	15 (100%)
児童発達学科	保育園	2
	幼稚園	2
	児童養護・福祉施設	6
	小学校・高等学校	2
	公務員 (山口県)	1
	その他	1
計	14 (100%)	
看護学科	独立行政法人病院	4
	国立大学法人附属病院	7
	私立大学附属病院	2
	県・市・公立病院	2
	財団法人病院	6
	日本赤十字社	3
	社会福祉法人恩賜財団	3
	その他総合病院	11
	公務員 (保健師)	1
計	39 (100%)	
総計	68 (100%)	

②進学状況

学部・学科	進学先	人数 (%)
福祉心理学科	本学大学院人間科学研究科	2
	山口県立大学国際文化学研究科	1
	計	3 (100%)
看護学科	山口県立大学別科助産専攻	1
	計	1 (100%)
総 計		4 (100%)

③国家試験の合格率

学部・学科	国家試験名	人数 (%)
福祉心理学科	社会福祉士	2 (50.0%)
看護学科	看護師	3 7 (90.24%)
	保健師	1 5 (93.75%)

(2) 短期大学部

①就職状況

学科	就職先	人数 (%)
保育学科	保育園	3 4
	幼稚園	7
	児童養護・福祉施設	1 1
	一般企業・その他	5
	計	5 7 (100%)
食物栄養学科	病院	3
	保育園	6
	福祉施設	2
	食品関連企業・一般企業	2 3
	計	3 4 (100%)
総 計		9 1 (100%)

②進学状況

学科	編入学先	人数 (%)
食物栄養学科	私立4年制大学	2
	その他	1
総 計		3 (100%)

(3) 高等学校

①進学状況

【国公立・大学校】

北海道大学	1	東京大学(理Ⅱ)	1	東京工業大学	1
東京外語大学	1	横浜国立大学	2	大阪大学	1
神戸大学	1	岡山大学	4	広島大学	2
山口大学(医3名)	1 1	九州大学	1	大分大学	1
山口県立大学	2	北九州市立大学	2	防衛大学校	1

【私立大学・私立短期大学】

青山学院大学	6	慶應義塾大学	1	国際基督教大学	1
上智大学	2	成蹊大学	2	中央大学	2
東京理科大学	5	法政大学	1	明治大学	7
立教大学	4	早稲田大学	5	同志社大学	5
立命館大学	1 3	宇部フロンティア大学	6	西南学院大学	7
福岡大学	2 3	福岡歯科大学	2	宇部フロンティア大学短期 大学部	3 3

他 70 名

【専修学校・各種専門学校】

山口調理製菓専門学校	3	Y I C リハビリテー ション大学校	2	Y I C 公務員専門学 校	2
ハリウッドワールド 専門学校	2	九州医療スポーツ専 門学校	1	麻生外語観光&製菓 専門学校	1
バンタンデザイン専 門学校	1	福岡ビューティーア ート専門学校	1	北九州調理製菓専門 学校	1
下関福祉専門学校	1	広島工学院大学校	1	広島外語専門学校	1
大阪デザイナー専門 学校	1	エコール辻	2	文化服装学院	2

他 9 名 計 31 名

②就職状況

就職先	人数 (%)
公務員	1
一般企業・その他	1 1
福祉施設・病院等	6
計	1 8 (100%)

5. 入試状況

- (1) 大学の入試状況は、人間社会学部福祉心理学科は受験者数 53 名（昨年 51 名）で昨年度より受験者は増加しました。また、人間健康学部看護学科は受験者数 330 名（昨年 231 名）で受験者は大幅に増加しました。大学院の入試状況は、受験者数 12 名（昨年 18 名）で昨年度より受験者は減少しました。短期大学部の入試状況は、受験者数 98 名（昨年 93 名）で昨年度より受験者は増加しました。
- (2) 高等学校の入試状況は、受験者数 778 名（昨年 944 名）で昨年度より減少しました。中学校は、受験者数 82 名（昨年 70 名）で増加しました。

6. 国際交流

- (1) 大学・短期大学部ではニューカッスル大学（オーストラリア）、サウスシアトルコミュニティカレッジ（アメリカ）、昌信大学（韓国）、大連大学（中国）との交流協定を締結しています。今年度は、10月の大学祭「魁祭」の期間中に、昌信大学から美容芸術学科・美術学科・音楽学科の学生70名、教員9名が訪れ、卒業作品展示会・演奏会を2日間開催しました。また、大学では学生26名が、昌信大学への短期文化体験研修（夏季6日間16名・春季30日間10名）に参加しました。
- (2) 高等学校は昌信高等学校（韓国）と交流協定を締結しています。7月20～21日に昌信高等学校から生徒29名、引率教諭等2名が来校し、一泊二日のホームステイを体験しました。8月8～12日には、本校生徒16名（中学5名、高校11名）、引率教職員5名が昌信高等学校を訪問し、歓迎夕食会および昌信校生宅に一泊ホームステイして交流を深めました。

7. 施設・設備の整備

施設・設備関係は、緊急性、重要性に基づいて教育環境の充実・向上、安全性確保に重点を置き整備を行いました。

大学	文京クリニック及び臨床心理相談センター改修工事
短大	図書館改修工事
高校	2・4号館校舎耐震補強工事及び本館校舎・体育館耐震補強診断
幼稚園	2号館園舎屋根防水改修工事及び3号館園舎便所改修工事 総合遊具更新及びツリーハウス設置
学生寮	内装改修工事

Ⅲ. 財務の概要

1. 学校部門

表1に過去5年間の消費収支と帰属収支差額の推移を示しました。

平成24年度は、消費収入21億14百万円、消費支出22億11百万円、消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費支出超過額は98百万円となりました。

また、企業会計での税引前当期利益に相当する帰属収支差額（帰属収入23億28百万円から消費支出22億11百万円を差し引いた金額）は1億17百万円となり収入超過となりました。収入超過の主な要因としては、学生生徒等納付金が45百万円増加したこと、法人・大学の退職給与引当金を2億84百万円戻入れたこと及び高校校舎の耐震補強工事、耐震補強診断による補助金88百万円を計上したことがあげられます。

表1. 過去5年間の消費収支と帰属収支差額

(単位：百万円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,299	1,189	1,235	1,182	1,227
	補助金	519	509	487	448	543
	その他	329	220	228	148	558
	帰属収入合計(A)	2,147	1,918	1,950	1,778	2,328
	基本金組入額合計	△82	△80	△79	△78	△214
	消費収入の部合計	2,065	1,838	1,871	1,700	2,114
	消費支出の部	人件費	1,505	1,345	1,395	1,553
(内、退職金関係を除く人件費)		(1,422)	(1,265)	(1,275)	(1,246)	(1,228)
教育研究経費・管理経費		641	663	688	676	700
(内、減価償却額)		(222)	(221)	(221)	(219)	(214)
借入金等利息他		12	7	12	3	10
消費支出の部合計(B)		2,158	2,015	2,095	2,232	2,211
当年度消費支出超過額	93	177	224	532	97	
前年度繰越消費支出超過額	1,841	1,928	2,100	2,314	2,840	
基本金取崩額	6	5	10	6	72	
翌年度繰越消費支出超過額	1,928	2,100	2,314	2,840	2,866	
帰属収支差額(A) - (B)	△11	△97	△145	△454	117	

表2に主な財務比率を示しました。人件費比率(帰属収入に対する人件費の割合)は64.5%となっています。人件費依存率(学生生徒等納付金に対する人件費の割合)は122.3%となっています。

表2. 主な財務比率

項目	計算式	比率 (%)	全国平均 (%)
人件費比率	人件費／帰属収入	64.5	54.0
人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	122.3	74.4
教育研究費比率	教育研究経費／帰属収入	19.9	24.7
管理経費比率	管理経費／帰属収入	10.2	9.5

※全国平均は平成24年度版今日の私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)より抜粋

次年度繰越支払資金は前年度の4億19百万円から1億57百万円となり、前年度に比べ2億62百万円の減少となりました。

2. 収益事業部門

宇部環境技術センターは、平成24年度決算は売上高1億93百万円、経常利益△2百万円となりました。

表3に過去5年間の売上高と経常利益の推移を示しました。売上高は前年度に比べて18百万円増加、経常利益は前年度に比べ36百万円の増加となりました。

表3. 過去5年間の売上高と経常利益の推移

(単位:百万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	303	262	216	175	193
経常利益	39	49	△5	△38	△2

資金収支計算書

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,222,485,000	1,227,154,803	△4,669,803
手数料収入	20,843,000	22,190,985	△1,347,985
寄付金収入	11,627,000	12,671,200	△1,044,200
補助金収入	538,508,000	543,159,487	△4,651,487
資産運用収入	2,036,000	2,247,366	△211,366
事業収入	50,006,000	51,955,730	△1,949,730
雑収入	183,800,000	183,823,298	△23,298
前受金収入	214,690,000	210,328,500	4,361,500
その他の収入	283,610,232	284,271,157	△660,925
資金収入調整勘定	△436,663,500	△450,728,745	14,065,245
前年度繰越支払資金	418,546,537	418,546,537	
収入の部合計	2,509,488,269	2,505,620,318	3,867,951
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,419,621,000	1,417,264,994	2,356,006
教育研究経費支出	313,471,000	285,081,509	28,389,491
管理経費支出	203,973,000	200,564,377	3,408,623
借入金等利息支出	1,742,000	1,742,153	△153
借入金等返済支出	53,640,000	53,640,000	0
施設関係支出	199,424,000	211,496,250	△12,072,250
設備関係支出	19,043,000	23,932,274	△4,889,274
資産運用支出	273,415,000	274,253,762	△838,762
その他の支出	117,490,030	113,859,985	3,630,045
「予備費」	15,000,000		15,000,000
資金支出調整勘定	△232,508,000	△233,415,221	907,221
次年度繰越支払資金	125,177,239	157,200,235	△32,022,996
支出の部合計	2,509,488,269	2,505,620,318	3,867,951

消費収支計算書

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,222,485,000	1,227,154,803	△4,669,803
手数料	20,843,000	22,190,985	△1,347,985
寄付金	11,627,000	13,137,181	△1,510,181
補助金	538,508,000	543,159,487	△4,651,487
資産運用収入	2,036,000	2,247,366	△211,366
事業収入	50,006,000	51,955,730	△1,949,730
雑収入	248,146,000	467,995,480	△219,849,480
帰属収入合計	2,093,651,000	2,327,841,032	△234,190,032
基本金組入額合計	△272,107,000	△214,107,445	△57,999,555
消費収入の部合計	1,821,544,000	2,113,733,587	△292,189,587
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,504,277,000	1,501,344,323	2,932,677
教育研究経費	490,921,000	462,945,364	27,975,636
管理経費	240,985,000	236,810,184	4,174,816
借入金等利息	1,742,000	1,742,153	△153
資産処分差額	0	2,290,500	△2,290,500
徴収不能額	0	6,109,000	△6,109,000
「予備費」	15,000,000		15,000,000
消費支出の部合計	2,252,925,000	2,211,241,524	41,683,476
当年度消費支出超過額	431,381,000	97,507,937	
前年度繰越消費支出超過額	2,840,493,001	2,840,493,001	
基本金取崩額	0	72,223,399	
翌年度繰越消費支出超過額	3,271,874,001	2,865,777,539	

貸借対照表

平成25年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	6,452,878,086	6,363,202,166	89,675,920
有形固定資産	5,414,090,798	5,394,596,455	19,494,343
その他の固定資産	1,038,787,288	968,605,711	70,181,577
流動資産	391,476,740	499,856,769	△108,380,029
資産の部合計	6,844,354,826	6,863,058,935	△18,704,109
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	802,719,550	1,058,162,223	△255,442,673
流動負債	525,690,417	405,551,361	120,139,056
負債の部合計	1,328,409,967	1,463,713,584	△135,303,617
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金の部合計	8,381,722,398	8,239,838,352	141,884,046
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
消費収支差額の部合計	△2,865,777,539	△2,840,493,001	△25,284,538
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部、 消費収支差額の部合計	6,844,354,826	6,863,058,935	△18,704,109

宇部環境技術センター

貸借対照表

平成25年3月31日現在

		(単位 円)	
資産の部	金額	負債及び正味財産の	金額
I流動資産		I流動負債	
流動資産合計	113,604,667	流動負債合計	38,725,809
II固定資産		II固定負債	8,557,210
固定資産合計	114,130,571	負債合計	47,283,019
		III正味財産	
		正味財産合計	180,452,219
資産合計	227,735,238	負債及び正味財産合計	227,735,238

損益計算書

自平成24年4月1日至平成25年3月31日

		(単位 円)
区 分		金額
(経常損益の部)		
I営業損益		
(1)営業収益		
売上高		192,694,578
(2)営業費用		
販売費及び一般管理費		201,875,526
営業利益		△9,180,948
II営業外損益		
(1)営業外収益		
受取利息他		6,911,255
(2)営業外費用		
支払利息他		764,959
経常利益		△3,034,652
(特別損益の部)		
III特別損益		
(1)特別利益		
貸倒引当金戻入額他		575,000
(2)特別損失		
固定資産除却損		1
一般会計繰入前当期利益		△2,459,653
一般会計支出額		0
税引前当期利益		△2,459,653
法人税、住民税及事業税		0
当期純利益		△2,459,653

宇部フロンティア大学附属文京クリニック

貸借対照表

平成25年3月31日現在

		(単位 円)	
資産の部	金額	負債及び正味財産の	金額
I流動資産		I流動負債	
流動資産合計	2,387,654	流動負債合計	0
II固定資産		II固定負債	0
固定資産合計	31,886,108	負債合計	0
		III正味財産	
		正味財産合計	34,253,762
資産合計	34,253,762	負債及び正味財産合計	34,253,762